

高校三年生の夏休みに母に誘われバリアフリービーチのボランティアに参加しました。活動内容は健常者と障がい者が一緒に海で楽しむという内容でした。「海は皆のもの」という言葉とともに障がいあるなし関係ない皆が笑顔になれる、そんな活動でした。

この活動を企画したAさん、足に障がいを持っていて電動車椅子に乗っていました。私ほとても生活が大変なんだろうなど感じていましたがそんな心配はいりませんでした。Aさんはこの障がいも武器にしてたくさん障がいを持った人たちに元気と笑顔を与えてくれました。そしてこのバリアフリービーチの他にも色々な活動を行っていました。ここまで行動できる人はなかなかいないですし、障がいとこれから先生きて行く覚悟にも思えました。そしてこのバリアフリービーチで一番日焼けをし、足と顔が真っ赤になっていました。それでもこのバリアフリービーチを開くことができ嬉しかったと涙ながらに語ってくれた時は私もいつかAさんのようにたくさんの人を笑顔にできる人になりたいという勇気ももらいました。

次に出会ったのはダウン症のBちゃんとCくんです。とても笑顔が愛おしく、人懐っこい所が魅力的でした。私の親戚にも双子のダウン症の人がいますが小さい頃に親戚の集まりがあるがたくさん遊んでくれたことを覚えています。ダウン症の子はとても心が優しくて魅力がたくさんつまっています。このバリアフリーで出会ったBちゃんはスタッフの人と家族にべったりでとても可愛かったです。Cくんは色々な海の乗り物、例えばイカダだったりたくさんさんのことに挑戦していました。すごく楽しそうでも私も楽しい気持ちになりました。そして他の子供たちにまがり、スイカ割りと一緒にしたりと自ら色々なことに挑戦する姿を見

てたくさんサポートしてあげようという気持ちになりました。

私がこのバリアフリービーチのボランティアを通して一番驚いた事は、車椅子の人でも海に入ることができるということです。モビチェアという車椅子を知っていますか？モビチェアとは高品質な水陸両用の車椅子で、ビーチや湖、そしてプールなどの水上や、陸上でも利用できます。そして、モビチェアを使えば、遊歩道からビーチや水の上へスムーズに移動することができますみたいです。また色がオレンジ色なことから遠くからでも分かりやすく安全性にもこだわっていることが分かります。このように車椅子の人でも海に入り楽しむことができる工夫された車椅子を見た時はとても感動しました。

このモビチェアに乗ったDさんは乗る前すごく嫌がっていました。ですがたくさんスタッフの人たちにかこまれながら挑戦！戻ってきた時もやっぱり苦手だったようです。でも周りの人たちは笑顔で「頑張ったね」や「一緒に楽しめてよかった」とたくさん笑顔につつまれていました。そして保護者のお母さんとお父さんが笑顔で涙目になりながら「よかったね」と声をかけてあげる姿を見てすごく感動しました。バリアフリービーチにきてからDさんの側を離れずにいた保護者の方を見てるとすごく心にしみました。

このバリアフリービーチのボランティアを通して感じたのは「感動」でした。障がいあるなしにかかわらず助け合い楽しみ合う姿はたくさん笑顔と感動につつまれていました。これからはもっとこのようなボランティアに積極的に参加し、障がい者の人への理解を深めてこうと思いました。